

神奈川施保連ニュース VOL. 62

発行人 神奈川県知的障害者施設保護者会連合会会長 岩本邦雄
編集 同上 広報部会 HP: <http://w01.tpl.jp/~a368318200/>
発行所 同上 事務局 〒235-0021 横浜市磯子区岡村3-15-14 岩本邦雄方
TEL & FAX 045-751-1010



平成27年度 神奈川施保連 第47回定期総会報告

平成27年7月5日海老名名文化会館において、神奈川施保連の第47回定期総会が開催され、代議員定数107名中95名の出席（委任状を含む）がありました。

総会終了後、社会福祉法人同愛会理事長高山和彦様による「一生涯を支える支援の仕方」・「終の住処をどこに」・「看取り」という演題での講演会（施保連ニュース63号を参照してください）がありました。

岩本会長挨拶

「神奈川施保連第47回定期総会にご出席ありがとうございます。」

本日は、平成26年度の活動と決算の説明及び平成27年度の活動計画案と予算案の説明をします。後でなにか質問があれば皆様のご意見を聞かせて頂きたいと思っております。

今年度は、全国的障害者施設家族会連合会（全施連）主催の全国大会を、神奈川が担当することになっています。細部については今後ご報告します。と開会のあいさつをいたしました。

平成26年度活動報告

神奈川施保連は、「知的障害のある人々の福祉の向上ならびに保護者会等の健全な発展に寄与する」という設立目的のもとに、あるべき福祉制の実現と、各保護者会等における活動のより一層の活性化に向けて、全施連と連携しつつ、取り組んでまいりましたが、我々家族の想いが国政を動かすには至りませんでした。

一方、神奈川施保連として「調査部会」・「広報部会」・「交流部会」・「総務部会」の4部会活動を軸とする各保

護者会への各種情報提供については、所期の成果を収めることが出来たものと考えております。

(1)各保護者会等における共通課題への取り組み支援

①高齢化・障害の重度化への対応

入所施設・グループホーム等に関し、各保護者会等の現状把握と課題整理を計画しましたが、課題整理までには至りませんでした。

②地域移行への対応

入所施設でなければ安心・安全な生活ができない、地域移行にはなじまな人がいるという現実について、行政や社会に理解してもらうよう取り組みました。

(2)各保護者会等の活動の一層の活性化に寄与する情報提供

「調査部会」・「広報部会」・「交流部会」・「総務部会」

4部会からの情報提供

(3)他の障害団体との連携

①全施連との連携

②県内諸団体との連携

(4)各市町村との関係強化
横浜市・川崎市との対話を実施しました。

(5)その他課題への取り組み

①運営体制等の強化

②保護者会等間交流会の実施
「施設利用者に対する支援の質・量」をテーマとして実施。

③組織拡大

十分な成果を得るには至りませんでした。

なお、平成26年度は常任理事会・理事会を23回開催し、三役会議・部会会議は随時開催しました。

決算報告 監査報告

会計担当より、平成26年度決算（一般会計・全国大会特別会計・特別基金会計）について説明し、水谷監査役から決算内容はすべて適正に処理なされているとの報告があつて、全会一致で承認されました。

平成27年度活動計画案

神奈川施保連は、知的障害のある人達が本場に必要とする福祉制度とは、「障害の程

第11回全国大会in神奈川を成功させよう

大会テーマ『知的障害のある人にとって最適な生活の場とは』
～障害の多様性さらにはライフステージに応じた生活の場を考える～

日時：平成27年10月20日(火)～21日(水) 会場：ローズホテル横浜
参加費：6,000円 交流会費：7,000円
主催：全国知的障害者施設家族会連合会
担当：神奈川県知的障害者施設保護者会連合会

度・態様やライフステージに応じて、入所施設・グループホーム・在宅などの多様な選択肢の中から、本人の選択によって、最もふさわしい場でふさわしい支援が受けられるもの」と考えています。この活動方針は昨年と同様です

具体的取組

(1) 「第11回全国大会in神奈川」開催の取組

全施連の本年度全国大会は、神奈川県施保連が担当し、「第11回全国大会in神奈川」として、10月20日、21日に横浜で開催します。

「知的障害のある人にとって最適な生活の場とは」を大会テーマとして、新たな構想のもとに取り組みます。

(2) 各保護者会等における共通課題への取組

- ① 高齢化・障害の重度化への対応
- ② 地域生活移行への対応

(3) 各保護者会等の活動の一層の活性化に寄与する情報提供等

「調査部会」・「広報部会」・「交流部会」・「総務部会」4部会は、各保護者会等の一層の活性化のために、適時・適切な情報提供を積極的に行うよう努めます。

(4) 他の障害者団体との連携

① 全施連との連携
「第11回全国大会in神奈川」の成功に向けて、全施連との意思疎通を図りながら準備を進めます。

(5) 神奈川県及び各市町村との関係強化

より一層の関係強化に努めます。

(6) その他の課題

① 運営体制の強化
◆ 基本的な運営体制はこれまでどおりとします。

◆ 将来を担う人材の育成に努めます。

② 保護者会等間交流会の継続実施
本年度は第3回目として

「各法人と家族会のコミュニケーションの実態とあるべき姿」をテーマとして保護者会等間交流会を実施します。

平成27年度予算

一般会計・全国大会特別会計・特別基金会計予算については、全国大会費用が組み込まれた原案どおり承認されました。

平成27年度役員選任

一部の常任理事・理事に変更があったがすべて選任されました。

◆ 新理事紹介

- 中島 吉崇 (福田の里)
- 栗原 泰志 (星谷学園)
- 甲山 謙一 (悠トピア)

以上、全議案について提案通り承認され、総会は終了しました。

(総会の詳細は神奈川施保連ホームページを参照下さい)

障害のある人たちが病気になったとき、ケガをしたときに備えて

神奈川県施保連では、知的障害児者や自閉症児者が病気やケガをしたとき、また、そのために入院したときなどに備え、「やまゆり知的障害児者生活サポート協会」の運営に参加しています。加入資格、その他の詳細は、下記までお問い合わせください。

やまゆり知的障害児者生活サポート協会

〒221-0844 横浜市神奈川区沢渡4-2 神奈川県社会福祉会館内
TEL 045-314-7716 FAX 045-324-0426